

徳島市民病院

地域医療連携だより

平成24年
10
月号

〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室
Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念

「思いやり・信頼・安心」

内分泌・糖尿病内科のご紹介

内科主任医長 木戸 里佳



現在、当院の内分泌・糖尿病内科は3名の医師（三浦 眞司、木戸里佳、井野口 卓）を中心に診療を行っています（日本内分泌学会内分泌代謝科専門医2名、日本糖尿病学会糖尿病専門医1名）。また糖尿病診療においてはさまざまな職種の専門スタッフによるチーム医療が重要な役割を担いますが、当院でも医師をはじめ、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士から成る糖尿病診療チームを構成し、糖尿病患者の教育・診療にあたっております。糖尿病患者の治療に際しては医師以外のこれらのスタッフの関わりが非常に重要であり、それぞれの専門分野で患者の教育・指導を継続して行う必要があります。当院の糖尿病診療

に携わるスタッフも、日本糖尿病療養指導士（1名）、徳島県医師会糖尿病療養指導士（3名）の資格取得などを通じて、より良い診療のために日々努力を重ねております。

糖尿病患者は全国的に増加の一途をたどっており、特に徳島県は過去20年近くにわたってほぼ毎年糖尿病死亡率全国1位という不名誉な状態が続いております。この状態を少しでも改善させるべく、徳島市医師会糖尿病対策班と連携しながら日々の糖尿病診療に励んでおります。しかし増加する一方の糖尿病患者数を考えると、全ての患者を糖尿病専門医が診ることは非常に難しいのが現状です。また、糖尿病診療では日常生活における管理と継続性が何よりも重要であり、この二点からかかりつけ医である地域医療連携の先生方の役割は非常に大きいと考えられます。さらには2010年7月の糖尿病の診断基準の改訂により、より早期の診断が可能となり、かかりつけ医の先生方による早期の診断および治療介入が求められています（図1）。

糖尿病型：血糖値(空腹時 $\geq 126\text{mg/dl}$ 、OGTT 2時間 $\geq 200\text{mg/dl}$ 、随時 $\geq 200\text{mg/dl}$ のいずれか)
HbA1c (NGSP 値) $\geq 6.5\%$ [HbA1c (JDS 値) $\geq 6.1\%$]

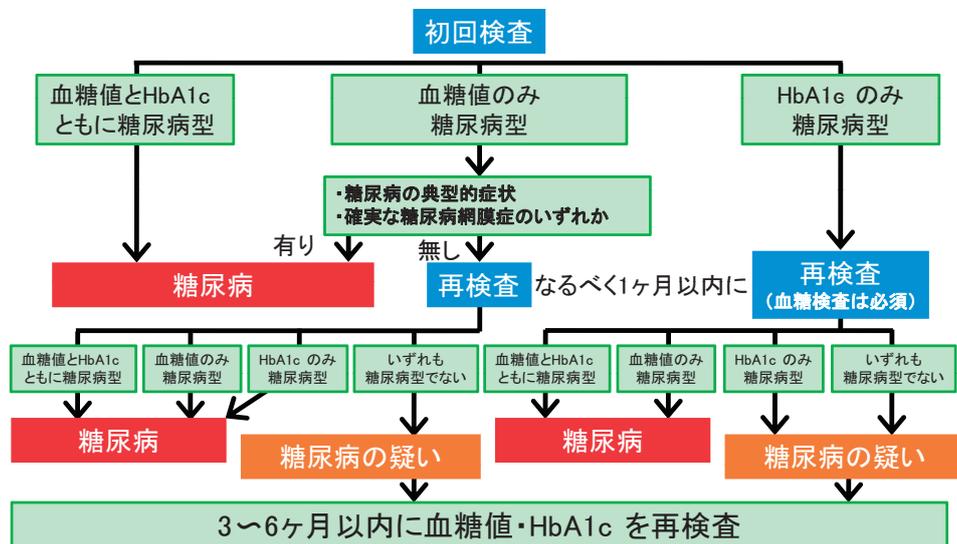


図1 糖尿病の臨床診断のフローチャート（2012年4月1日以降）

その中で、管理栄養士による食事指導を始めとした入院での患者教育が必要な症例、あるいは血糖コントロール困難症例および進行した合併症を有する症例などの治療においては是非当院をご利用頂ければと考えております。地域における糖尿病診療のレベルアップのために、病態の評価、患者教育などが一通り終了し、治療方針を決定してある程度病状が安定した時点で、再度かかりつけ医の先生方のところでの治療の継続をお願いし、また必要に応じて専門医療機関を受診して頂くといった本来の意味での“地域連携”が強くと求められていると思います。そのほか通常の2型糖尿病症例以外に、徐々に膵β細胞機能が低下する緩徐進行1型糖尿病（；SPIDDM）（コントロール困難な2型糖尿病として治療されている場合があります）や若年の1型糖尿病症例など、早期からのインスリン治療が必要であったり、インスリンポンプの適応を検討したりと、治療の初期から専門的な対応を要する症例もありますので、このような症例も是非一度当科外来へご紹介下さい。

当院では糖尿病診療チームのスタッフを中心に、毎週火曜日午後2時から3時まで糖尿病教室を開催しております。毎月各週ごとにテーマを設けてそれぞれの専門スタッフ2名（各30分ずつ）による講義、実技指導を行っています（図2）。糖尿病教室もどうしてもマンネリ化しがちな部分もありますが、本年4月から内容を見直し少しずつですが新しい試みを始めています。以前より糖尿病患者様からは食事に関する内容をききたいとのご要望が多く、毎月第2週は管理栄養士による糖尿病の食事療法に関するさまざまな内容の指導を1時間かけて行うようにし、患者様からご好評を頂いております。また眼科医、皮膚科医、循環器科医など糖尿病に関係する他科の専門医からの講義も不定期に行っております。糖尿病教室はどなたでも参加が可能で、当院通院中の患者様でなくても参加して頂けますし、予約も不要で、費用もかかりません。既にかかりつけ医の先生のところでの治療に戻られた方でも糖尿病教室は参加されている方もいらっしゃいます。

もしも地域医療連携の先生方のところに通院中の方で糖尿病教室に興味のある方がいらっしゃいましたら気軽に参加をお勧め頂ければと思います。最後となりましたが、地域医療連携の先生方には日頃より貴重な症例を多数ご紹介いただいておりますことに感謝しますとともに、今後のさらなるご協力をお願い申し上げる次第であります。

図2

糖尿病教室のご案内

場 所：1F 栄養相談室（ファミリーマート前）

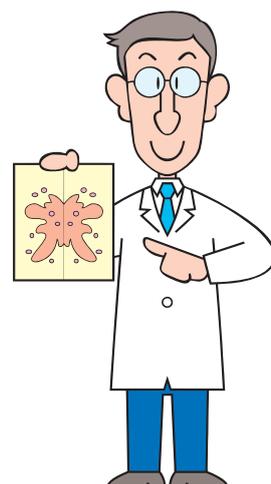
時 間：午後2時～3時（1テーマ30分）

※食事療法のみ40分程度

〈10月の予定〉

日付	テーマ	担当者
10月2日 (火)	糖尿病の基礎 糖尿病の薬について	三 浦 内科診療部長 萬 玉 薬剤師
10月9日 (火)	食事療法について	谷 本 管理栄養士
10月16日 (火)	糖尿病の薬物療法 (経口血糖降下薬) 糖尿病と心房細動	井野口 内科主任医長 折 野 内科診療部長
10月23日 (火)	糖尿病の合併症について フットケアについて	木 戸 内科主任医長 井 上 看護師
10月30日 (火)	糖尿病についてみんなで話そう 自由に意見交換をしましょう(^o^)	糖尿病教室スタッフ

◎なお、診察などの都合により予定の変更もありませんがご了承ください。



在宅緩和ケア事例検討会を開催しました

「在宅緩和ケア事例検討会」を平成24年8月10日に徳島市民病院にて開催しました。

参加人数は48名（院外35名、院内13名）、職種も医師・看護師・薬剤師・MSW・リハビリスタッフ等多職種の方々にご参加いただきました。

今回の検討会では、「患者及びご家族のQOL」をテーマとして、第1部は徳島市民病院の緩和ケアへの取り組みの紹介、第2部では肝細胞癌患者に対する食事や運動療法・服薬管理が良好な予後やQOL向上のためにいかに重要であるかといった内容の講演を行いました。また、第3部では、2例の事例を提示して小グループでディスカッションを行いました。グループディスカッションでは「訪問診療や往診体制が重要となってくる。在宅緩和ケアネットワークについてもっと知ってもらう必要がある。」「看取る家族への支援が必要である。」「本人が気持ちを出さず、希望が聞けないまま亡くなってしまうことも多い」等の活発な意見交換が行われました。



第2部 講演



グループディスカッション



お忙しい中、お集まりいただいた方々に心より感謝いたします。今後も緩和ケアの充実、地域の方々との連携に努めて行きたいと思っております。

緩和ケア啓発イベント

厚生労働省は緩和ケアの正しい知識を普及・啓発するために10月初旬1週間を「ホスピス緩和ケア週間」と定めています。今年度の緩和ケア週間は10月7日（日）～10月13日（土）の期間となり、当院では、下記のとおり"緩和ケアイベント"を開催します。どなた様でも自由に参加できますので、是非ご来場ください。

緩和ケア委員会



日時：10月11日（木）13時15分～15時

場所：徳島市民病院 1階エントランスホール

プログラム：

★13時15分～13時30分 開催の挨拶

緩和ケア委員長（徳島市民病院副院長）
渡辺 滋夫



★13時30分～14時 フラメンコダンス（約25分）



2011年開催の様子

出演：フラメンコ スタジオ
アメディアの皆さん



★14時～14時30分 太極拳（約25分）



講師：范 永輝 先生
武英級（中国武術最高資格）
四国大学生生活科学部助教
武術国家一級指導員 武術国家一級審判員
1990年 全中国プロ武術家大会で棍術優勝
九節鞭で3年連続優勝などすべての種目で
優秀な成績を修める
1995年 北京体育大学武術系卒業

★14時～15時 栄養相談 がん医療相談



緩和ケア外来担当医
薬剤師、栄養士
医療相談員（看護師）
が担当させていただきます
お待ちしております



2011年開催の様子